

緑で演出する「ウエルカム花壇」を設置する計画だ。また、通常の岡山城での催しとも連携を図り、ゴールデンウィークを中心に道の駅や観光関連団体による飲食物の提供や物産展などの開催を検討したい。

吉備スマートIC

さらなる利用の促進を

問 吉備スマートICを最大限活用するために周辺道路の整備が必要では。



吉備スマートIC 整備予定の周辺道路

答 ETC専用の吉備スマートICは着実に利用台数が伸びており、これは地理的な利便性について市民の認識の広がりやETC使用者の増加によるものと考える。今後も吉

備スマートICを最大限活用するため、現在アクセス道路が狭く、見通しも悪い区間がある周辺道路について、平成20年度から緊急性の高い個所の整備を順次進める。

灘崎支所庁舎と

進入路の改修

問 灘崎支所を区役所に暫定利用するが①庁舎を改造する必要があるのでは②進入路で

ある灘崎町片岡2号線の早期拡幅を。

答 ①区役所機能が果たせる配置とすることはもとより、市民の利用しやすさに配慮することが重要だ。動線上の段差解消や窓口の配置等に工夫しながら、施設の形状等を勘案し準備を進めていきたい②平成20年度から用地買収と一部工事に着手する予定で早期完成に向け努力する。

防災・安全安心

消防・救急体制の整備充実

問 行政区割り決定後の、消防署所の配置は、どう見直すのか。

答 消防・救急体制の整備充実には、安全・安心のまちづくりを支える大きな力だ。来春の開署に向けて西消防署・消防防災センター（仮称）の建設を進め、行政区割りに即した消防署所の適正配置や消防団の再編を行う。加えて、消防隊の現場活動を支援するための指揮隊の創設をはじめ、

大規模災害や特殊災害に対応し得る高度救助隊の創設など常備消防の体制整備を図っていききたい。

退職者の知識と経験で

問 水道局における退職者災害支援協力隊とはどのような構想か。

答 大規模災害の発生時に、職員だけでは水道の復旧に対応しきれない場合もあり、水道局退職者の持つ知識、技能、経験を生かし、被害情報の収集、応急給水活動などを支援



災害時の水の安定供給に向けて

ため、20年度は、県が認証事務等を行っている岡山県ボランティア・NPO活動支援センターで研修を受ける。今後とも、NPO活動を魅力的な地域づくり、まちづくりにつなげるため協働・連携の体制づくりを努める。

災害時の要援護者情報

関係各課と連携し収集へ

問 災害発生時の要援護者情報の収集・共有に対する取り組みは。

していただくボランティア組織として設立する。また、水道局と連携を図りながら、地域住民への給水拠点場所の周知、緊急貯水槽・応急給水栓の使用手法など災害対策の普及・啓発活動にも協力をいただく。

河川防災ステーションに

本市の備蓄施設を併設

問 国土交通省岡山河川事務所により今在家に河川防災ステーションが設置される予定だが、本市の取り組みは。

答 NPO法人の認証事務を県からの移譲事務の一つとして21年度に受け入れる。その

政令市移行後の

NPO対応業務に向けて

問 安全・安心ネットワーク推進室の平成20年度NPO対応業務は。

答 NPO法人の認証事務を県からの移譲事務の一つとして21年度に受け入れる。その